

☆視 点

ブラジルの化合繊需給（2012年）

1. 2012年の化合繊生産は前年比9%減

ブラジル化繊協会（Associação Brasileira de Produtores de Fibras Artificiais e Sintéticas：ABRAFAS）によると、2012年のブラジルの化合繊生産量は31.0万トと前年比7.8%減少した。内訳をみると、生産量の9割近くを占める合繊が8.9%減の27.5万トと減少したのに対し、セルロース繊維は2.4%増の3.5万トと増加した。

品目別ではそれぞれ異なる動向を示した。最大品種のポリエステル（F+S）が14.0%減の17.9万トと2年連続で減少し、1999年以来13年ぶりに20万ト台を下回った。ポリエステルFは主力の衣料用が1.2%増（5.4万ト）と微増したものの、産業用（53.6%減、0.9万ト）が半減した。アクリルSも19.8%減の2.6万トと2桁の大幅減少となった。一方、ナイロンFは6.9%増の5.2万ト、ポリウレタンFも45%増の1.7万トとなった。

セルロース繊維の内訳は、レーヨンSが7.5%増の2.0万トと増加したのに対し、アセテートS（たばこフィルター用）は3.4%減の1.5万トと減少した。

ブラジルの品種別化合繊生産

品種	(1000ト)					
	2008	2009	2010	2011	2012	12/11(%)
合成繊維	338.0	290.5	329.4	301.5	274.7	-8.9
ポリエステル	252.6	209.3	230.9	208.4	179.2	-14.0
フィラメント	120.4	87.6	91.4	72.7	62.9	-13.4
ステープル	132.2	121.7	139.5	135.7	116.3	-14.3
ナイロンフィラメント	53.5	49.4	54.4	48.7	52.1	6.9
アクリルステープル	31.9	31.8	32.4	32.4	26.0	-19.8
ポリウレタンフィラメント	...	...	11.7	12.0	17.4	45.0
セルロース繊維	31.9	46.0	37.1	34.0	34.8	2.4
レーヨンステープル	15.4	30.2	20.7	18.1	19.5	7.5
アセテートステープル	16.0	15.7	16.4	15.9	15.3	-3.4
化繊合計	369.9	336.4	366.5	335.5	309.5	-7.8

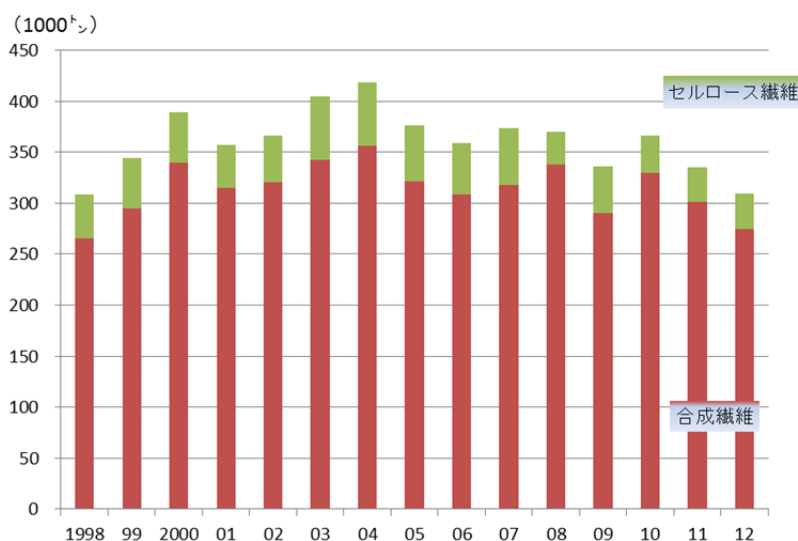
出所：ABRAFAS

注：アセテートステープルはタバコフィルター用

ポリエステルSはリサイクル品を含む。

ブラジルの化合繊生産量はリーマンショックの影響を最も受けた2009年に前年比9.1%減の33.6万トと急減したが、2010年には08年比0.9%減の36.7万トとほぼ以前の水準に回復した。しかしその後は2年連続で減少し、2012年は1998年（30.9万ト）の規模に縮小した。

ブラジルの化合繊生産推移



Fiber Organon 誌によると、ブラジルの化合繊生産量は2011年時点で世界第15位。世界で見るとロシアなど旧ソ連全体（CIS）やベトナムとほぼ同じ水準で、中南米では最大の化合繊生産国である。

世界の国・地域別化学繊維生産量（2011年）

				(1000ト)			
国・地域	計	合繊	セルロース	国・地域	計	合繊	セルロース
中国	30,965	28,897	2,067	パキスタン	510	510	-
インド	3,728	3,357	371	マレーシア	382	382	-
台湾	2,167	2,086	82	CIS	317	314	3
米国	1,845	1,819	26	ベトナム	304	304	-
西欧	1,683	1,245	438	<b>ブラジル</b>	<b>295</b>	<b>277</b>	<b>18</b>
韓国	1,551	1,551	-	メキシコ	201	201	-
インドネシア	1,593	1,169	424	その他	3,036	2,990	45
タイ	1,052	909	143	世界計	49,078	45,420	3,658
トルコ	772	772	-	注:オレフィンを除く			
日本	687	625	62	出所:Fiber Organon			

## 2. 化合織の内需は2.5%減だが、衣料用は増加

ブラジルの化合織は国内市場向けが中心で、生産に占める輸出の割合は12.3%と1割強に過ぎない。しかし2012年の化合織輸出量は、前年比7.5%増の3.8万トと増加した。

品目別ではポリエステルがF、Sともに増加し、11.0%増の1.2万ト。アクリルSも41.5%増の0.8万ト、ポリウレタンFも数量はわずかながら2.4倍に増加した。一方で、ナイロンFは全体で4.2%減の0.9万ト。主力の産業用が11.9%減の0.6万トと減少した。セルロース繊維は全体で23.0%減の0.6万ト。レーヨンSが57.8%減、アセテートSが18.2%減とともに大幅に減少した。

化合織輸入は前年比4.1%増の33.0万ト。品目別ではポリエステルが全体で8.6%増の26.7万ト。主要品目の衣料用ポリエステルFが12.5%増の19.0万ト、産業用も20.3%増の3.3万トと増加した。ナイロンは1.0%減の4.9万ト。アクリルSおよびポリウレタンFはいずれも2桁減となった。セルロース繊維は、全体で7.1%減の0.7万ト。

ブラジルにおける化合織の輸入比率は全体で55%であるが、需要の多いポリエステルは62%と化合織全体を上回っている。

化合織の内需は、全体で60.2万トと2.5%減少したが、衣料用に限ると、ポリエステルFが10.0%増、ナイロンFが16.6%増といずれも2ケタ増となった。

ブラジルの化織需給（2012年）

(1000ト)

品目	設備	生産		輸出		輸入		内需	
			前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)
合成繊維	411.1	274.7	-8.9	31.8	16.9	323.1	4.4	565.9	-3.0
ポリエステル	286.1	179.2	-14.0	12.0	11.0	266.7	8.6	433.9	-2.1
フィラメント（衣料用）	97.7	54.0	1.2	0.8	-29.9	189.5	12.5	242.7	10.0
フィラメント（産業用）	15.0	9.0	-53.6	5.1	3.6	33.4	20.3	37.3	-11.6
ステープル	90.0	58.6	-25.0	3.7	27.3	43.8	-11.4	98.7	-20.8
ステープル(リサイクル)	83.4	57.7	0.2	2.5	27.4	...	...	55.2	-0.8
ナイロン	67.1	52.1	6.9	9.3	-4.2	48.7	-1.0	91.4	3.7
フィラメント（衣料用）	50.3	40.2	11.7	3.5	12.3	31.2	22.9	67.9	16.6
フィラメント（産業用）	16.8	11.9	-6.7	5.9	-11.9	17.4	-26.6	23.5	-21.3
アクリルステープル	36.0	26.0	-19.8	7.9	41.5	5.2	-38.1	23.2	-33.9
ポリウレタンフィラメント	22.0	17.4	45.0	2.6	139.2	2.5	-59.6	17.4	0.9
セルロース繊維	59.4	34.8	2.4	6.4	-23.0	7.3	-7.1	35.7	6.5
レーヨンステープル	42.0	19.5	7.5	0.4	-57.8	7.2	-6.4	26.2	5.9
アセテートステープル	17.4	15.3	-3.4	6.0	-18.2	0.1	-45.3	9.4	8.3
化織計	470.5	309.5	-7.8	38.2	7.5	330.3	4.1	601.6	-2.5

出所：ABRAFAS

注：内需＝生産＋輸入－輸出

：内需に国内メーカーが輸入したPOYを含まない

：アセテートはタバコフィルター用

### 3. ブラジル経済は内需の拡大に期待

2012年のブラジルの経済成長率（実質）は0.9%と減速感が強まっている。リーマンショック後の2010年は7.5%の高成長を記録したが、翌年（2011年）は利上げや欧州債務危機の影響から2.7%と前年の成長幅を大きく下回り、さらに2012年は工業および農畜産業の不振から成長率が1%を割り込んだ。しかし一方、サービス業は1.7%上昇、個人消費支出も3.1%上昇するなど、失業率の低下と給与の増加を背景に消費者の購買意欲は高く、小売や自動車販売は好調となっている。

2012年のブラジルの失業率は5.5%と、前年の6.0%から改善して過去10年間で最低水準となった。また2013年1月より、政府が最低賃金を名目ベースで9%引き上げた。最低賃金の引き上げは毎年実施されており、経営者側には労働コストの上昇であるが、国民にとっては実質的な所得増加につながり、消費にプラスの効果をもたらしている。

ブラジルは2014年に自国でのサッカーワールドカップ、2016年にオリンピックが開催されるなど、今後更なる内需の拡大が期待されている。

（担当：業務調査グループ 戸円）

以上